

豊川小だより

5月号

ホームページ
QRコード



令和7年5月1日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

立場が人を作る

校長 中村 順子

4月の末から、早くも初夏のような陽気が続き、子供たちの中には、半袖姿で登校してくる子が増えてきました。正門脇のビオトープには、ツツジやシャクナゲなどの初夏を前に咲く花々が開き、藤棚でも例年より早く淡い紫色の花が咲き、花びらが舞い落ちています。足早に季節が進んでいる様子があちこちに見られる豊川小学校の校庭です。

＊

毎年この時期驚かされるのは、子供たちの順応力の高さです。「最高学年」となった6年生は、進級からたった1か月しか立たないにもかかわらず、学校のリーダーとして引き締まった顔になっています。1年生のお世話や委員会・クラブ・フレンズ班（縦割り班）活動のリーダーとして日々奮闘する様子からは、「学校のことは自分たちに任せて！」という最高学年としての自負が感じられます。2年生から5年生までの授業の様子からは、額を寄せ合って班での話し合いを活発に進めたり、今までおとなしいと思われていた子が積極的に発言したり、元気あふれる子が真剣にテストに取り組んだり、早くも一回り成長した姿が垣間見られます。1年生も、自分たちでできることは進んでやりたいと意欲を見せ、友達と手助けし合いながら、積極的に小学校生活に向き合っています。給食の時間に私が教室に行くと、「きゅうしょくとうばん、じょうずにできた！」「きゅうしょくおいしいから、ぜんぶたべるんだ！」などと、きらきらした目をしながら報告をしてくれます。入学、進級から1か月、学年が上がり「新たな立場」になったことで、また一段と成長が見られる子供たちを見て、まさに「立場が人を作る」と感じている毎日です。この素敵な意欲を長く続けることができるように、今月も教職員一同、児童への支援に励んでまいります。

＊

4月21日から、リノベーション工事が本格的に始まりました。仮囲いや現場事務所ができたことで、限られたスペースで教育活動を行っています。仮囲いの中では、大勢の作業員の方々が、子供たちの学習の妨げにならないようにと気遣いをされながら作業をしている姿が見られます。

以前からもお伝えしていますように、体育館改修工事は9月下旬まで、校舎のリノベーション工事は今後あと1年半、その後校庭の改修工事となり、子供たちには不便を掛ける日々が続きます。今月末の運動会に向けては、工事エリア外のビオトープ前からプール周辺、改修が終わった屋上、そして旧清至中学校体育館などを活用しながら、練習を重ねてまいります。

＊

運動会の実施につきましては、隣接する明桜中学校の全面的なご協力をいただき、直前の練習、そして当日とも、明桜中の校庭等をお借りすることになりました。使用をご快諾くださいました明桜中の菊池校長先生を始め関係者の皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

条件が厳しい中ではありますが、子供たちは、運動会本番に向けて一生懸命練習に励んでいますので、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ぜひご参観くださいますようお願い致します。

